

おおたわらみずとみどりをまもるかい

大田原水と緑を守る会（千曲市）

・組織の活動面積 A= 23.6 ha

・組織の構成員数 約 80 人

組織形態

農地維持 ■

資源向上(共同) ■

資源向上
(長寿命化) □

取組開始年度

平成26年～

平成26年～

—

構成員

農家、農家以外の住民、大田原区、育成会、やまぶき会(地区の生活改善グループ)

組織の概要

千曲市の西部に位置し、市中心部から車で20分ほどの標高約770メートルの山間部で約40ヘクタールの耕地を有し、世帯数41戸の小集落で緑の美しい農村原風景の残っている山あいの地域です。

農業従事者の高齢化や有害野生鳥獣被害による、耕作放棄・荒廃農地の発生が懸念されている。これらの課題に総合的に取り組むため、地域内の複数団体で「大田原水と緑を守る会」を組織して農地・自然環境・美しい景観を守る取り組みを始めました。

風光明媚な農村原風景を未来に

野生鳥獣被害総合対策で平成19年から3年間で、イノシシ及びニホンジカ対策の金網ネットを約12キロメートル設置し、被害を最小限に留めている。維持管理は年2回程度、受益者対応で行っているが、維持管理にも限界があり対応に苦慮している。



水田地帯を横断する農道沿いに景観形成活動として「コスモスの花のベルト」を作り、除草は近隣耕作者に担当していただく等、地域住民の手で農村景観の向上への取り組みを行いました。

今後は今年度で課題となった事項について検証を行い、より積極的な活動を実施していく。

- ①景観形成活動では遊休農地を利用して花の植栽も予定している。
- ②野生鳥獣被害対策の金網ネットの維持管理は地域住民総出で実施する。

